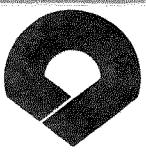
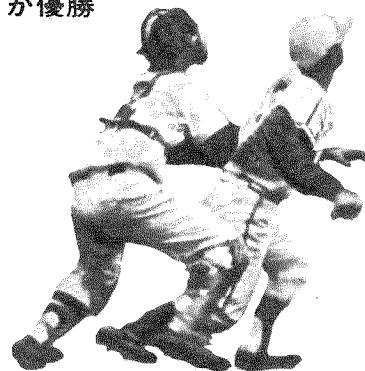


第42回選抜高校野球
大会で県立箕島高校
が優勝



県民の友

昭和45年385号 5 発行／和歌山県知事室広報課
和歌山市小松原通り1-1

紫紺の大旗 紀州路へ

おめでとう！県立箕島高
校野球部の諸君。本当によ
くやった。四十三年という

長い歳月、君たちの先輩た
ちが幾度か挑んだあの紫紺
の大優勝旗を君たちはがつ
ちりと手にしたのだ。

優勝した君たちの喜びは
もとより、百万県民すべて
が心から祝福をおくつてい
る。

北陽	200	000	100	100	4
箕島	000	120	000	101X	5



優勝の興奮さめやらぬ甲子園球場で
(大橋知事を囲む箕高ナイン)



この意気を
黒潮国体へ

あの、北陽高校（大阪）との雌雄を決する最終戦
—私たちは、君たちの一挙一動に祈りにもにた声援
をおくり続けたものだつた。延長十二回、君たちが
その氣力と執念で、最後の勝利をおさめたあの瞬間
私たちはおもわざおどりあがつた。

「よくやつた黒潮健児、紀州魂ここにあり」と

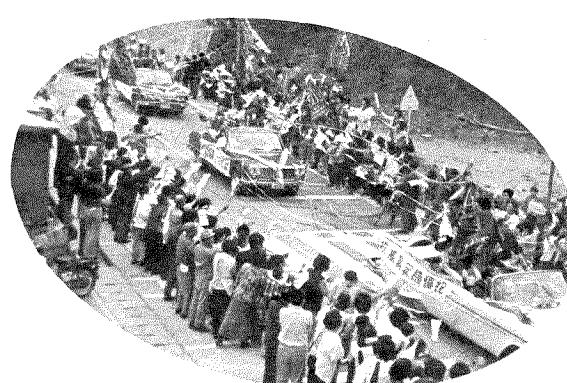
来年は、いよいよ黒潮国体の年だ。

いま、私たちは、か
つてない高まりの中で
その成功を誓いあつて
いる。

県勢発展へ！スキー
ツ王国へ！その足がか
りとなる黒潮国体に、
君たちがみせた「紀州
魂」と、県民すべてが
一丸となつて、君たち
におくり続けた応援—
あの郷土愛に燃えた意
気と力をぶつつけよう
と。

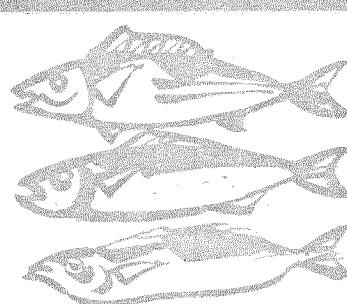
君たちの優勝は、黒
潮国体への県民の期待
をぐんと盛り上げてくれ
れた。

さあ、つぎは、私た
ち百万県民が黒潮国体
を立派に成功させる番
なのだ。
和歌山県の新しい飛
躍のために！



歓迎の人波にうづまく春の紀州路(下津町塩津)

優勝の一瞬!! 喜びにわく応援団席



漁業を考る

—和歌山県水産増殖試験場—

県政スポット

紫紺の大旗 紀州路へ

毎日テレビ

5月2日、9日 8:00~8:15

四国テレビ

5月3日、10日 7:45~8:00

地場産業を訪ねて
—織維工業—

県政スポット

毎日テレビ 5月16日、23日 8:00~8:15

四国テレビ 5月17日、24日 7:45~8:00

母子福祉大会

—和歌山県—

毎日テレビ 5月30日、6月6日 8:00~8:15

四国テレビ 5月31日、6月7日 7:45~8:00

広報アワー

和歌山放送

12:30~12:35

月~金曜日 県政の動きとお知らせ

土曜日 県政マイクスケッチ

県政映画

県政トピックス

(県内常設映画館で上映中)

県政アルバム

JORP-FM

NHK和歌山県域ローカル放送

★ニ ュ ー ス P.M.0.10~0.15(毎日)…6月から

“ 5.55~6.00(月~土)

“ 7.55~8.00(土)

“ 8.03~8.10(月~金)

★くらしの話題 P.M.6.00~7.00(火~金)…6月から(月)

★いこいのひととき P.M.0.15~1.00(木)…6月から

★リクエストアワー P.M.3.00~5.00(土)…6月から

周波数 84.7MHz (御坊83.9MHz、由田81.8MHz、
新宮83.8MHz、串本85.4MHz)

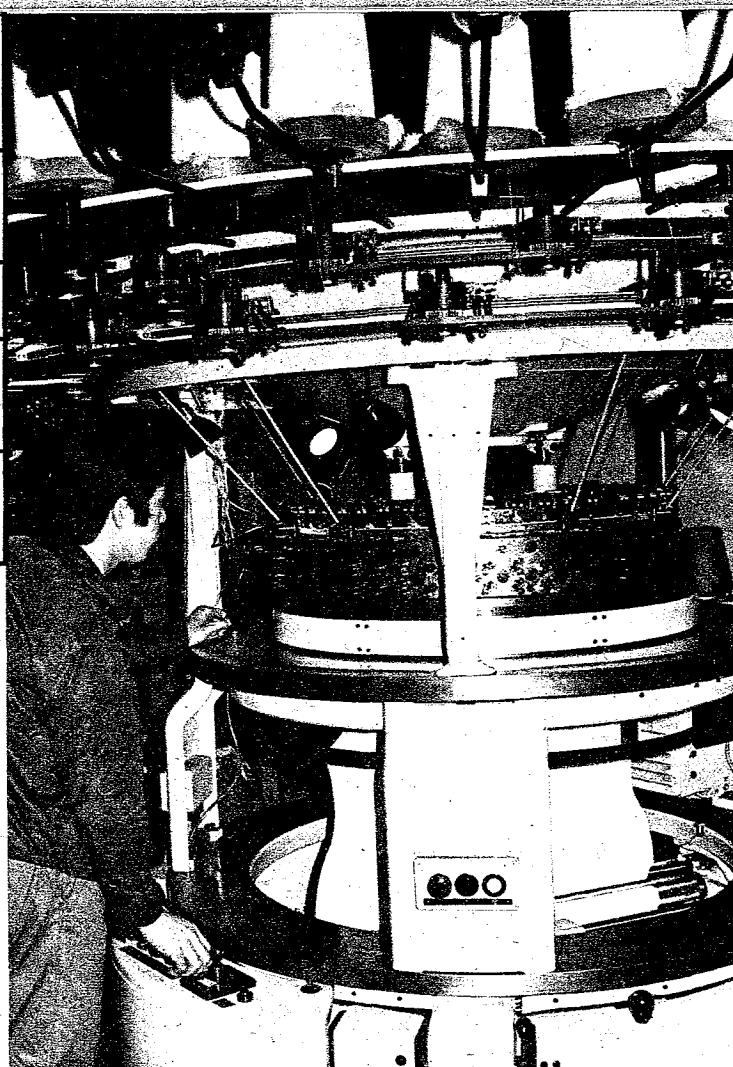


メリヤス製造業 構造改善事業計画

年度	全 国 グループ数	本 県 グループ数	本県グループ 総事業費 (百万円)
44 年度	27	2	127
45 年度	30 27	3 2	(新規) 673 (継続) 401
48年 度予 想計	800	49	5,300

明治 四十一年、當時和歌山の主産業であった綿ネルにつづいて登場したメリヤスは、第一次世界大戦を契機として急速に発展し、韓国、中国などにも盛んに輸出して、質量とも県産業の中核として発展してきました。

戰時、メリヤス原糸の統制や空襲などにより、一時衰えをみせましたが、昭和二十四年、朝鮮動乱を境に復興し、近年、歐米先進国から、「フライス機」など新しい機械を導入して、從来の肌着オンリーから外衣への切り換えも進み、現在では、企業数二百八十社、（昭和四十四年五月組合員数）丸編機一万一千五百台（全国の約 $\frac{1}{3}$ ）に達し年間生産額四百億円を記録しています。



構造改善事業で、新鋭機も輸入、
待望の外衣の生産も可能に

近代設備をととのえた新工場が地方に進出
若もののがんばりで、過疎防止にも一役

五年前、東京オリンピック日本選手団のトレーニングシャツを一手に引き受けた「和歌山メリヤス」は、一百六年の歴史で、全国30歳以上の三重量級

六十有余年の歴史と、全国 $\frac{1}{3}$ 以上の生産量を誇るメ

ヤス業界にも体质改善の波が押し寄せ、いま、全国的な需要の増大と製品の高級化にこたえようと、業界あげて大規模な構造改善と取り組んでいます

すすむ協業化と構造改善

過疎対策に地方進出も

和歌山メリヤスの名声をかけて

年八月、「鐵維皮革課」を新設して、その実態を調査研究するとともに、昨年度から、大規模な構造改善に乗り出しました。

機械業界のたて
県ではこのよ
の動き
います。
一方、二ツト
る好みはますま
り、激しい国際
勝つためにも、
設備の近代化は
急務と考えられ
の意欲は日ごと
います。

近年 欧米先進国では、
ツト製品に対する需
要が急速に伸び、全布製品
の四十至五十^{ザイ}を記録して
いますが、わが国でも、年
々その需要が伸び、近く欧
米なみの水準に達するとの
見方も強く、メリヤス業界は

本年度はさらに、十七八者が、三つの新会社を設立する予定で、県は、これに對し過疎に悩む地方に新工場の進出を働きかけ、市町村の協力を得て、若年労働者の供給にも積極的な姿勢でのぞんでいます。

すでに南部町に進出を始めたしたK工場を始め、今年中に、吉備町、上富田町、県では四十八年度まで、業界を四十九のグレード

規模一億二千七百万円であります。そのうえ、七割が国および県からの貸し付け金でまかなわれていま

桃林と 美福門院の里 —那賀郡桃山町—

ふたりとの話

警察官募集人員

業界 日ごとに高まり、昨年度の五倍以上の予算を計上した織構造改善事業袋し付け金も、業界の希望を十分みたし得ないのではなにかと心配されています。県としても、貸し付け梓の増額や借り入れあつせんなど積極的に働きかけ、「和歌山メリヤス」を名実とも日本一の業界に育てようとしています。

村の協力を得て、若年労働者にも積極的な姿勢でのぞんでいます。
すでに南部町に進出をはたしたK工場を始め、今年内に吉備町、上富田町にも、近代的な設備をもった新工場が建設される予定で、県では四十八年度までに、業界を四十九のグループにわけ、工業用水や供給労働力など立地条件を調査して、業界の地方進出をしながら一方、設備の近代化と技術革新に本腰を入れ取り組んでいます。

桃林と 美福門院の里 —那賀郡桃山町— 佐中かずお

鳥羽院の妃辻
衛帝の生母で
ある。後年皇
位繼承にから
み、保元の乱
の陰の人物と
して、いろいろ
問題視され
る方である。
しかし当
地に隠棲（せ
い）後の門院
は、多感の女
筆者 桃山町神田
藩主徳川光貞のころ、
野山の碩（せき）学派の
建てたものという。

秀峰を背景に、山の桃花林は紀北のする一景觀である。船戸駅からバス。花と史跡に富む、イギングコースと。(あらかわ)の桃昔、南竜公頼宣が忠兵衛に命じ、寛開発させたもので「新田桃(しんでん)の始まりである。篤農家たちにより種の改良工夫が加こんにちに至つた

送られ、歴史に論じるよな面影は全くない。日ごろ、尼岡御所、修尼寺を宿処と定め、朝に休山に登り、はるか大塔そびえる高野山を押し、ひたには看經をたたず、ひたら先帝のめい福と追善供養を怠らず、かたわら紺紙泥の一切経を写し、野山奉納した。現存の「荒川蔵」におさめ、その経合當のため、全村一致して高野山寺領に寄贈した。

入居予定 四十六年五月
予定価格(頭金) 下層(一、二階)五百十
万円(二百六十一万円) 上層(三、四階)
百七十五万円(二百一十二万円)
積み立て 六月三十日に自己資金の五十五
を、七月一四十六年六月まで残りの五十五
を積み立てる
住宅延べ面積 六十九平方㍍、四DK
申し込み資格 原則として六十歳までの
で、月収が六万八千三百円(冬野が丘団
二戸建て) 七万五千円(同四戸建て)
万八千二百円(若葉団地)以上
申し込み 確実な保証人を立てて、所定
期日までに、県住宅供給公社(和歌山市
松原通り一一一 和歌山県厅内)へ

予定価格(頭金) ①四百四十六万円 (二
十六万円) ②四百五十九万円 (二百
十六万円)

住宅延べ面積 約六十平方㍍、三DK
《若葉団地》

和歌山市冬野字砂山 (南海バス冬野線「
渡」下車徒步三分、紀勢本線「黒江駅」
車徒步十五分)

○鉄筋コンクリート四階建て百戸 (メゾ
ット式で、階上を寝室や個室にあて、階
は居間や台所などに考えられたもので、階
部屋を一戸で使用リ専用階段ありリ)
募集期間 五月二十二日(土)～二十七日(日)
抽せん 五月二十九日(金)

から二十七年四月一日までに生まれた男
で八月採用に応じられる方
第一次試験 六月七日(日)和歌山、橋本
田辺、新宮の四市で
申し込み 五月二十七日(水)まで
用紙の請求、お問い合わせは、県人事委
会、県警務課またはもよりの警察署へ
和歌山市冬野に分譲住宅
県住宅供給公社では、住宅金融公庫の融
付き分譲住宅を次のとおり募集していま
『冬野が丘団地』
和歌山市冬野字地引(南海バス安原線)
野口下車、徒歩十五分)
①鉄筋コンクリート二階建て四戸連続九
三十六戸 ②同二戸連続七棟十四戸
募集期間 五月四日~九日
抽せん 五月十三日(水)

★★★★★★★★★★
県議会だより
★★★★★★★★★★

二月二十七日に招集された県議会二月定期会は、三月二十八日まで三十日間にわたって開かれ、四十五年度予算案などを慎重審議し、いずれも原案どおり可決されました。

本会議中に行なわれたおもな質問、答弁は次のとおりです。

〔質問〕 〔答弁〕

〔文責〕 県議会事務局

道路・河川問題

● 知事は基本方針の中に道路の整備をあげているが、改良、舗装とともに全国平均よりも率が低い。その理由はまた、京阪神との時間的距離の短縮は道路以外にないと思うが、当初予算にある道路の中で大阪向けはわずか一路線で千八百万円の予算である。これでは行政と思想が一致しないと思うが見解を。

▼ 道路の伸びは今後の補正と時間的距離短縮のため

阪和高速道路に真剣に取り組んでいる。泉佐野粉河線についても建設省との折衝に十分努力したい。

● 海南省藤白から高野スカ

イラインに通する道路の建設は、四十五年度から着工の考え。

▼ 総延長七十キロのうち、二十七キロは既設の林道などを活用し、あとは調査のうえ地元の受け入れ態勢を考え。

● 河川事業費のひくいこと

はまことにいかんである。

増額について建設省を要請しているが、今後とも努力したい。新宮川一級昇格とともに関連し、議会からも特に要望いただき、照会文書にもこれをとりあげてある。事業費の枠を一举に従う。国が正式に

に十億台に乗せるることはきわめて困難であるが早くご期待にそよよう努力したい

新宮川一級河川指定に建設省は強い態度と聞くが、

一級河川昇格は水利権と関係が深く、分水につながる問題である。住民は強く反対しているが、知事はその利害得失をどう考えている。

● 建設省の一級水系指定五年計画は四十五年度で終わるが、百水系のうち九十八が終わっており、二県以上にまたがるものは新宮川のみであり、建設省はこの機会にぜひやりたい方針である。

一級指定と分水は別個の問題である。建設省は分水には必ずしも意見を聞く旨、文書で確約しており、指定期間を断わり通したときに起る利害得失を考えるときこの辺で妥協せざるをえないのではないかと考えている。

● 市街化区域の設定基準と見通しは、線引きはいかなる方法でない、住民に周知した。予想される地価は、内農地に対する課税と都

市計画税について、また、公聴会で示した線引きの修正は。

● 十年後の人口、産業など

の基礎資料をもとに、近畿圏整備計画や長計を参考に区域を設定し、決定の時期は六月と予定している。指定期間では何回も説明会を開いたが、なお機会をとらえて周知に努めたい。地価は退きを迫られている現況であり、新たに敷地を求める。紀南の拠点として特性を生かし、近い将来移転を考えたい。また、図書館行政は県民の文化向上の基礎といふ観点から、今後十分読書市町村助役会議で検討中で正式協定までにまとめてい

る方法で行ない、住民に周知した。予想される地価は、内農地に対する課税と都

市計画税について、また、公聴会で示した線引きの修正は。

● 黒潮国体は史上最高のも

にした。道路、駐車場は最も力を入れており、自

信がある。施設もできるだ

さがす考え方もない。

● 公害問題の解決は企業の

発展と住民福祉の調和に求

えている。その後の状況は

和解の勧告をした私とし

て、十一月十三日の全国統

一大連絡会議は、教委の辞職問題が生じ

ている。その後の状況は

和解の勧告をした私とし